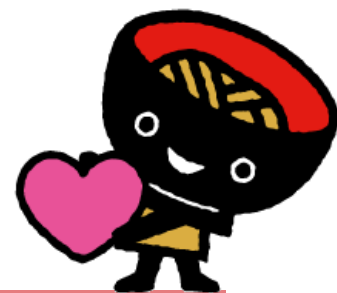


岩手県における 聴覚障がい児支援 に関する取り組み



岩手県保健福祉部障がい保健福祉課

本日の内容

- 1 早期発見の取組み
- 2 各分野間の連携
- 3 相談支援体制
- 4 既存のICTの活用
- 5 今後の課題



岩手県の自治体立医療機関マップ⇒

1 早期発見の取組み

早期発見の取組みについて①

① 新生児聴覚検査体制検討委員会

平成24年度時点では、県内分娩取扱医療機関のうち、新生児聴覚スクリーニング検査を実施しているのは、**75.7%**にとどまる



聴覚障がいの早期発見、新生児聴覚スクリーニング検査の充実を図る目的で、平成25年度に、関連分野の医師等を委員として**新生児聴覚検査体制検討委員会**を設置し、県内の体制整備に取り組む

② 新生児聴覚検査の公費負担

平成29年度に一部の市町村で公費負担を実施したのを皮切りに、令和2年度には全市町村において公費負担実施

年度	公費負担実施市町村数	実施率
平成29年度	2	6.1%
平成30年度	17	51.5%
令和元年度	30	90.9%
令和2年度	33	100.0%

早期発見の取組みについて②

③ 普及啓発（リーフレットの作成・配布）

平成29年度から、
新生児聴覚検査
受検促進に向け、
県内市町村及び
分娩取扱医療機
関へ配布

先天性難聴の頻度は1,000人に1～2人と、
現在マスキングスクリーニングが行われている
他の先天性疾患より頻度が高く、
先天性難聴の約半数は難聴の危険因子
（家族歴や子宮内感染など）がなく、
出生時に異常がない児であるため、
出生児を対象としたスクリーニングが必要になります。



聴覚障害は早期に適切な援助を開始する事により、
コミュニケーションの形成や言語発達に
大きな効果が得られます、
そのために早期発見が重要です。



新生児聴覚検査って？

この検査は必要なの？

新生児に対して行われる
聴覚検査なのですが、
「赤ちゃんに聴覚検査が必要なのかな？」と
思う方もいるかもしれません。
新生児だからこそ新生児聴覚検査で
早期に耳の聴こえを調べて
問題を発見する事が大事です。



検査は難しいの？

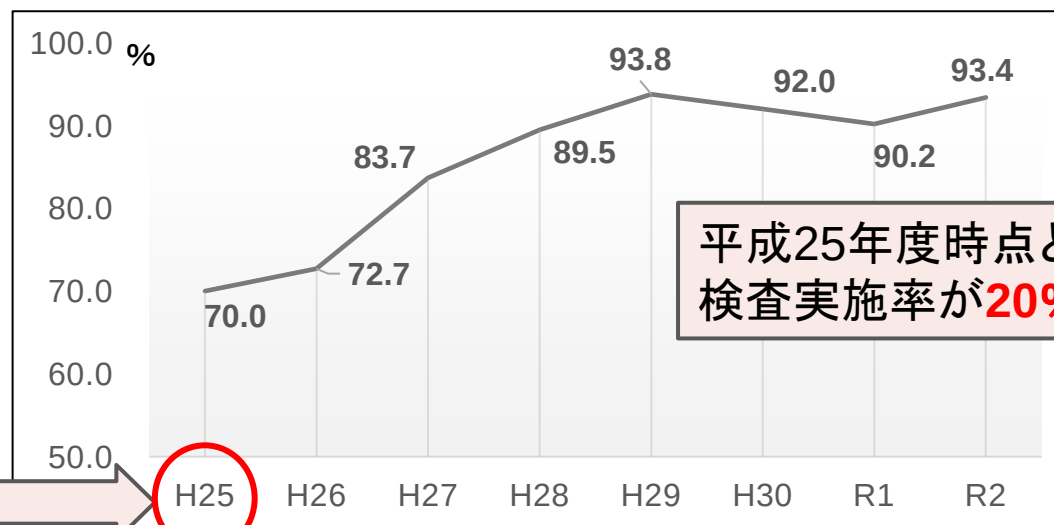
検査は赤ちゃんが 自然睡眠中に

新生児は言葉もなく反応も少ないために
専用の検査機器を使って聴力検査を行います。
新生児聴覚検査をしてわかるのは、
赤ちゃんが聴こえる基準の音に
反応しているかどうかです。



新生児聴覚スクリーニング検査

① 新生児聴覚スクリーニング検査実施率



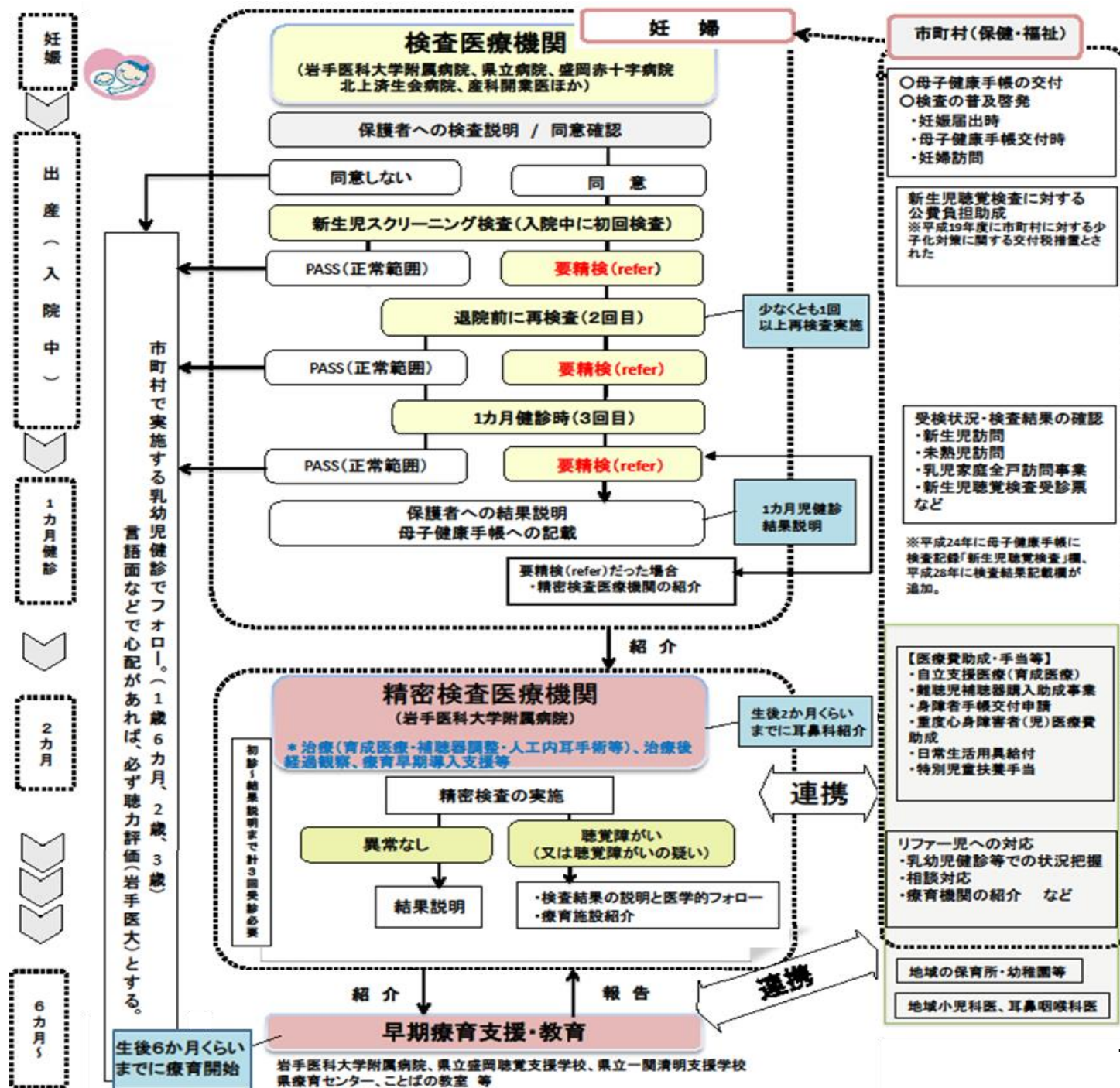
新生児聴覚検査体制
検討委員会の設置

② 要精検(refer)児数

年度	H25	H26	H27	H28	H29	H30	R1	R2
refer児数(人)	31	26	20	27	42	27	11	34

参考①

岩手県内医療機関における新生児聴覚検査体制



参考②

新生児聴覚検査実施医療機関の分布図

<精密検査医療機関>

◎ 岩手医科大学附属病院

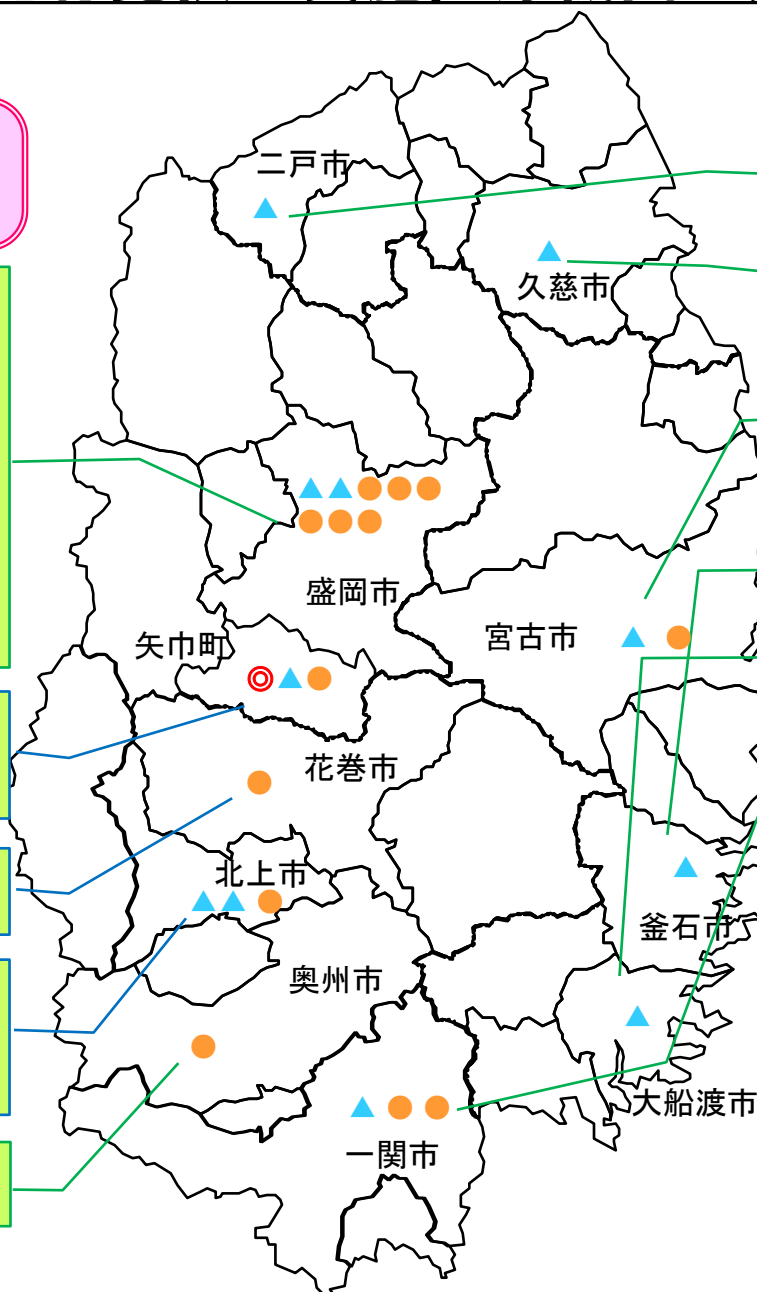
▲ 県立中央病院
▲ 盛岡赤十字病院
● 今井産婦人科内科クリニック
● 西島産婦人科医院
● みうら産婦人科内科医院
● 産婦人科吉田医院
● 村井産婦人科外科医院
● 黒川産婦人科医院

● やはば産婦人科
▲ 岩手県立療育センター

● 工藤医院

▲ 県立中部病院
▲ 北上済生会病院
● 齋藤産婦人科医院

● 平間産婦人科医院



▲ 県立二戸病院

▲ 県立久慈病院

▲ 県立宮古病院
● 伊東産婦人科医院

▲ 県立釜石病院

▲ 県立大船渡病院

▲ 県立磐井病院
● コスモスレディースクリニック
● 齊藤産婦人科医院

【凡例】

◎ : 精密検査医療機関 1か所
▲ : 二次聴力検査機関 11か所
● : 分娩取扱開業医 13か所

2 各分野間の連携



聴覚障がい児支援体制検討委員会

- **設置日** 令和2年10月8日
(**新生児聴覚検査体制検討委員会**を**改編**して設置)
- **目的** 聴覚障がい児の早期支援を図るため、保健・医療・福祉・教育が連携することにより、切れ目のない適切な支援を行うための体制整備等の検討を行う。
- **構成員** (※所属・職名はR3年度のもの)

分野	所属・職名
学識経験者	岩手医科大学耳鼻咽喉学講座 講師
	岩手医科大学附属病院耳鼻咽喉科 言語聴覚士
	岩手県立盛岡聴覚支援学校 指導教諭
医療・福祉従事者	岩手県立大船渡病院 小児科長
	岩手県立療育センター 相談支援部長
	盛岡市子ども未来部母子保健課 課長
関係機関・団体等	岩手県産婦人科医会 副会長
	岩手県難聴言語障がい教育研究会 小学校教諭

難聴児支援研修会

- ・ **目 的** 医療・保健・福祉・教育等、聴覚障がい児支援に携わる関係者が、各年齢段階の支援の現状と方向性を継続的な研修により理解するとともに、支援の円滑化(連携強化)を図る。
- ・ **主 管** 岩手県立療育センター
- ・ **開 催** 平成28年度から計10回開催(令和4年8月現在)

▼直近の実施状況

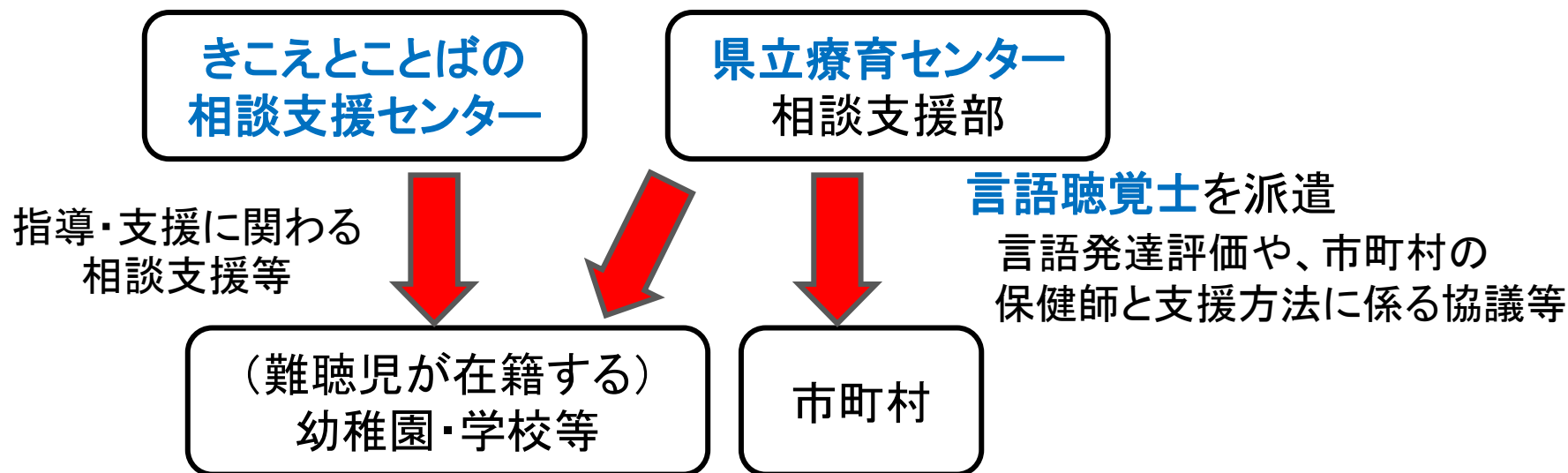
年度	開催日	内 容
R3	R3.8.27 (金)	(1) 行政説明 「県の難聴児支援の取組みについて」 (2) パネルディスカッション テーマ「難聴児支援における各機関での指導の実際」
〃	R4.1.17 (月)	(1) 情報提供(岩手医科大学医学部耳鼻咽喉科学講座) 「発見～新生児聴覚スクリーニング～補聴器装着」 (2) 講演(滝沢市健康福祉部児童福祉課) 「難聴児支援における切れ目のない機関連携の実際～ 滝沢市での指導例」
NEW ! → R4	R4.8.8 (月)	公開講座(岡山大学病院耳鼻咽喉科医師) 「難聴を持つ小・中・高校生の学校生活で大切なこと」

3 相談支援体制

相談支援体制について

機関名	対 象	主な相談内容	R3実績
盛岡聴覚支援学校 「きこえとことばの 相談支援センター」	本人・家族 保育・教育機関	・教育相談 (就学・進路相談) ・保護者支援 ・発達相談	・巡回支援 32件 ・来校相談 55件 ・電話相談 174件
県立療育センター 相談支援部	本人・家族 市町村等	巡回支援の実施	県内27市町村対象 計90回実施

巡回支援の実施状況



きこえとことばの相談支援センター

乳幼児教育相談「ひよこ組」

対象

0～5歳の就学前の聴覚障がいのあるお子さんとその保護者

相談日

週1回から2週に1回程度
ご希望に合わせて行います。

内容

愛情と信頼に基づいた親子関係を大切にしながら、コミュニケーションを育てる支援を行っています。

○親子で遊ぼう

（かかわり遊び、リズム遊び、ごっこ遊び等）

○絵本をいっしょに読もう

○絵日記を書いてみよう

○ことば遊びをしてみよう

○補聴器の相談など



お父さん・お母さんの相談

対象

幼稚園・保育所・小学校・中学校・高等学校・特別支援学校等に在籍している聴覚障がい幼児・児童・生徒とその保護者

相談日

随時

内容

○聴力の測定に関する相談

○きこえに関すること

○コミュニケーションやことばに関すること

○障がい認識に関すること

○発音に関すること

○学習に関すること

○進路に関すること

等



幼・保・小・中・高の先生方の相談

対象

幼稚園・保育所・小学校・中学校・高等学校の先生方

相談日

随時
在籍園や各学校への訪問も行います。

内容

○コミュニケーションやことばに関すること

○学習指導に関すること

○発音指導に関すること

○聴覚管理に関すること

○障がい認識に関すること

○進路指導に関すること

○関係機関の紹介

○教材教具のご紹介

○資料や情報の提供

○研修の協力

○研修会・地域相談会のご案内



4 既存のICTの活用

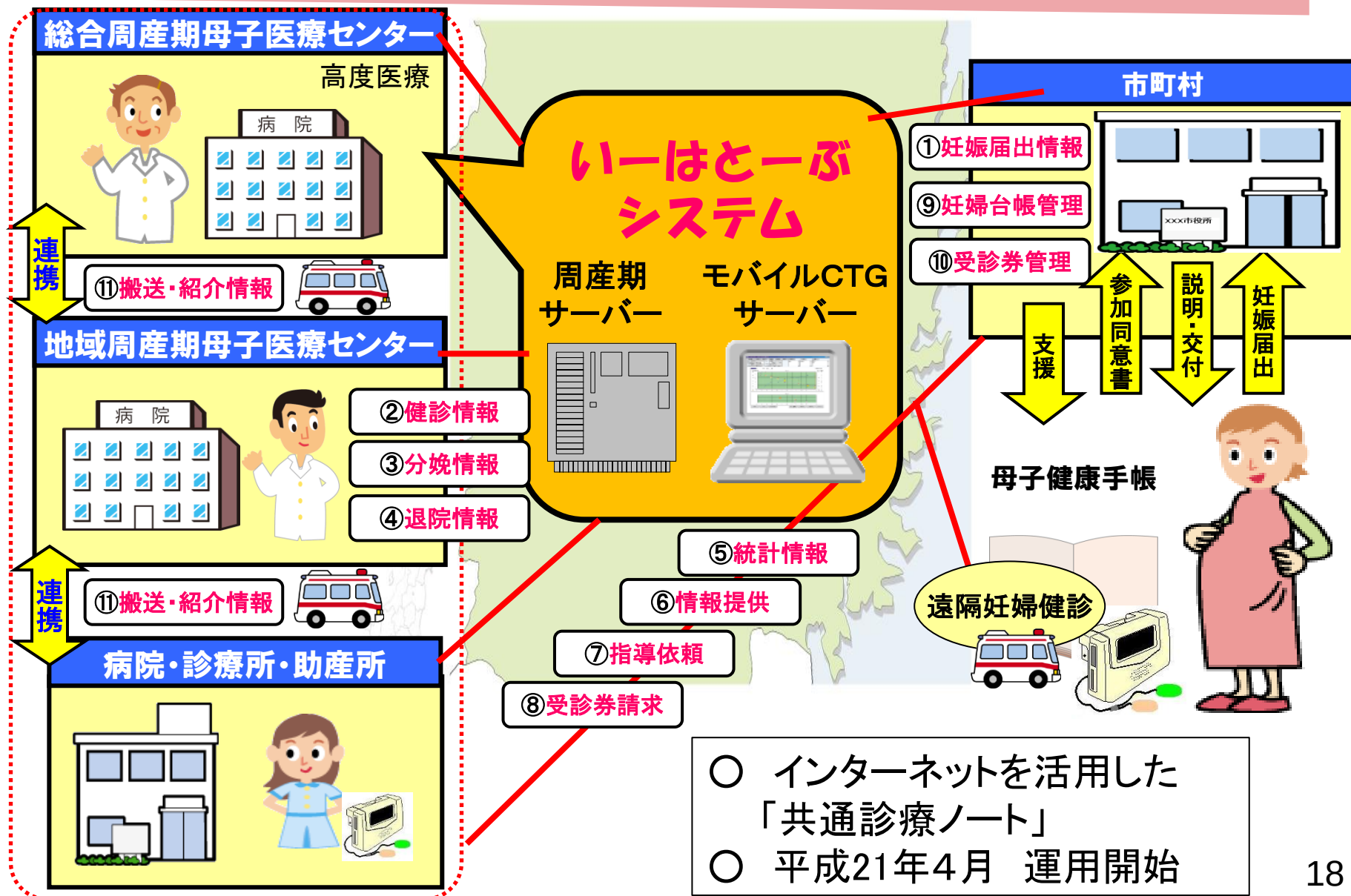
ICTの活用について

- ▶ 岩手は医師が不足しているだけでなく、**看護職員などの他の医療職種**や**介護・福祉関係従事者**も同様に不足
- ▶ 岩手は**県土が広く**医療圏内の**中核病院へのアクセス**も冬場は**1時間を超える地域**も多い
- ▶ 今後の**高齢化の進展**を踏まえ、**認知症や在宅医療、医療と介護の連携**などについて、**限られた保健・医療・福祉人材**で担う必要

県土が広く、医療福祉人材が少ない岩手県では
ICTは有効なツール

地域での人的ネットワークの構築や医療連携への
ICT活用が求められている

周産期医療情報ネットワーク「いーはとーぶ」



「いーはとーぶ」の活用例

岩手県周産期医療情報ネットワーク

いーはとーぶ

医療機関ユーザメニュー

母子手帳番号を入力し、
連携先に双方から連絡
を取ることができる

母子健康手帳番号を入力して **診察する** ボタンを押してください

母子健康手帳番号 22 - 03 - - - 1

診察する **かかりつけ病院の設定**

- ①初診の場合は母子健康手帳番号を入力し「診察する」を押し「患者情報」画面下部「かかりつけ病院」を設定し「保存」ボタンを押して下さい。
- ②「かかりつけ病院」設定後は母子健康手帳番号入力し「診察する」を押すか、「妊婦一覧」から選択して下さい。

お知らせ

2022/6/14

2022/6/16に Internet Explorer のサポートが終了するため

いーはとーぶを Microsoft Edge/Google Chrome にて操作できるようアップデート対応を行いました。

「いはとーぶ」の活用例

岩手県周産期医療情報ネットワーク

いはとーぶ

さん [ログアウト](#)

患者情報	リスクスコア	検査	健診一覧	4D一覧	グラフ	分娩記録	患者メニュー
質問票セット	情報提供	ケース連絡票	助産録	内診所見	パルトグラム	CTGグラフ	連携情報

連携情報

[戻る](#)

患者

年齢: 職業: 無職
住所: 電話番号: 家系: 分娩予定日: 分娩日: 分娩時週数: 週

キーパーソン

岩手医大 耳鼻科 担当者: 小林 有美子

入力画面

書き込みを行うと、連携先のメールに通知が届く

※書き込みを行うと、同時に書き込み内容が関係者にメール

病院 様への書き込みあり

? info@megoi.ihatove.pref.iwate.jp

To 自分

市 書き込みました。

■かかりつけ病院:

■母子健康手帳番号:

■妊婦氏名:

■書き込み内容: 岩手医科大学 医師 菅野様

いつも大変お世話になっております。
こちらこそ先日はお休み中にも関わらずありがとうございました。

20

「いーはとーぶ」の活用例

関係者	氏名	担当
☒	釜石市	
☒	釜石市	
☒	釜石市	
☒	釜石市	

※関係者のチェックを外すとメール送信されません。

<< 1 2 >>

2022/02

釜石市 担当者：関 美
岩手医科大学 医師 菅野様

いつも大変お世話になっております。
こちらこそ先日はお休み中にも関わらずありがとうございました。

情報共有していただきありがとうございます。
昨日園訪問を実施してきました。音入れも順調にすすみ本児も先生の話聞く姿勢がでてきてはいるようですがまだきちんと理解できていないところがあること、全体指示は通りにくいため、言葉も出てきていないこと、お話を聞かずに、ジェスチャーで対応していること、年度末までに両児とも何かありましたらご相談させていただきながらすすめていければとおもっております。
どうぞよろしくお願い致します。

2022/02/14 00:00

岩手医大 耳鼻科 担当者：菅野 智子
釜石市 医師 村上

先日は突然の訪問にも関わらず、ご対応いただきありがとうございました。

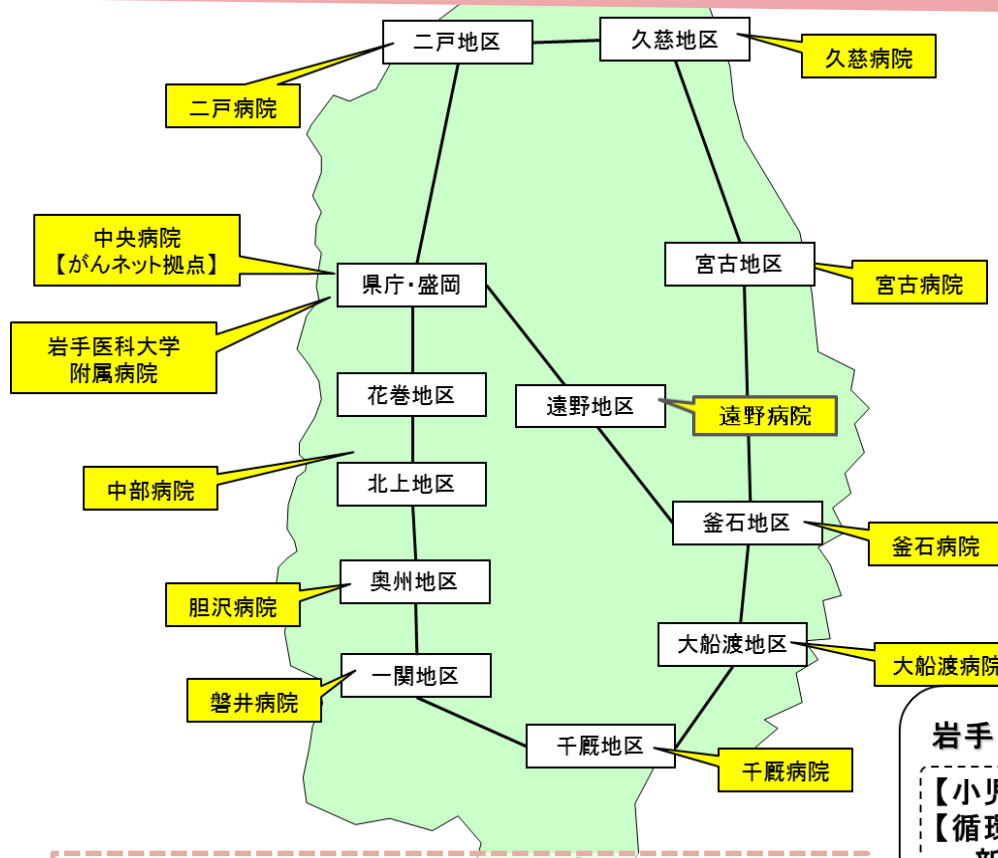
本日盛岡聴覚支援学校の先生、当院スタッフとも先日のお話しの内容を情報共有いたしました。

前回訪問から少し期間が経ったようでしたので、聴覚支援学校の先生には改めて保育園

市町村の保健師から、
医療機関へのメール
(⇒医療機関への支援要
請等について、直接やり取りが可能)

医療機関から、聴覚支
援学校との定例カンファ
の結果を、市町村の保
健師へ報告

小児救急医療遠隔支援システム



○ 小児救急医療を担う各医療圏の中核的病院(県立病院11施設)と岩手医大をテレビ電話で結び、詳細な動画像の送受信によるコンサルテーションを実施

○ 同じ画面上で、

- ・ 高精細な超音波画像
- ・ 電子カルテ情報等の閲覧
- ・ テレビカンファレンス

を同時に行うことが可能

岩手医科大学

【小児科】
【循環器医療センター】
新生児室・医局・
NICU・心エコー室 等

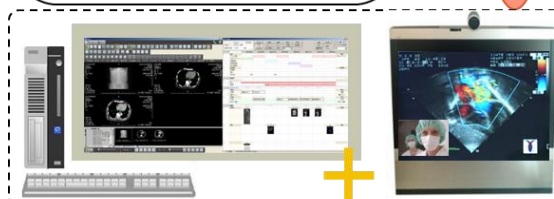
県立病院(11施設)

【小児科】
・新生児室・医局 等

【モバイル環境】

【外出先】(タブレット端末)
・専門医
・外科医
・病院スタッフ

いわて情報HW



画面イメージ

▶**聴覚分野**では、**新生児聴覚検査時**、地域で専門医の不在により、診断が行えない場合等において、テレビ電話をつないで診断のサポートを実施

5 今後の課題

県としての今後の課題について

- 小児難聴を専門とする**医師**や**言語聴覚士**等、人材の確保及び育成
- 難聴判定後の相談・支援体制の周知不足
(=どこに相談したらいいのか分からない、という不安の声)
- 療育開始後の状況把握や支援
- **中核機能**である**県立療育センターの機能強化**
⇒一定の相談対応ができる機能を担い、専門性の高い内容については関係機関へ「**つなぐ**」役割

ご清聴ありがとうございました。



「ホチョッキー くん」

平成27年度
盛岡聴覚支援学校 卒業生 作